静音 ターミナル加締め機 1.5 t・30 mm WPM-1500S

Model No. WPM-1500S



SPECIFICATIONS

モデル番号	WPM-1500S
圧着能力	1.5トン
ストローク	30mm
端子モールド	クロストランスミッションモールド,ダイレクトトランスミッションモールド
適用端子	分離端子,連続端子
操作	シングルアクションペダル
モーター	非同期モーターAC220V 550W
電源	AC110V/220V 50/60 Hz
寸法	290×290×600mm
重量	50kg

WPM-1500Sは、1.5トン、ストローク30 mmの静音式単動ターミナル加締め機である。AC 220 Vの550 Wかご形誘導モーターがインバーターを介してスライドを駆動し、本体は290 x 290 x 600 mmの架台に載り、質量は50 kgである。横送り金型と直送り金型の双方に対応するため、1台でサイドフィードとストレートのアプリケーターを扱える。

ハーネス作業台で今も一般的な空圧プレスやペダルプレスとの違いは、金型ではなく駆動にある。電動駆動は他のステーションが動作したときに低下する工場エア圧に依存しないため、シフト開始時に設定した加締めが終業時まで保たれる。各ストロークでシリンダーの排気がなく、これが本機を静音機として販売している理由であり、作業者ごとにレギュレーターを調整し直す必要もない。

Sシリーズの中では1500Sが入り口である。2000S、3000S、4000Sと同じ30 mmのストロークを共有しながら、加締め力は最も低く、占有面積は最小の290 mm角、質量は最も軽い50 kgである。中小の端子と短いリード線を対象とする場合に選ぶ機種であり、4トンの架台はアプリケーターに対して過剰なプレスとなる。40 mmのストロークを標準で持つのはグループ内で8000Sのみである。

主な特長

1. 短いリード線の中・小端子に対応する1.5トンの加締め能力

2. 2000S、3000S、4000Sと同じ30 mmのストローク

3. インバーター駆動の550 Wかご形誘導モーター、AC 220 V、50/60 Hz電源

4. 横送り金型と直送り金型を同じラムで受け入れる

5. 圧着端子と連鎖端子の双方に対応し、架台にはリールポストと湾曲ガイドアームを備える

6. 加締め部を覆う危険表示付きのガードプレート、単動ペダルでサイクルを開始する

技術仕様

項目	仕様
型式	WPM-1500S
加締め力	1.5トン
ストローク	30 mm
モーター	かご形誘導モーター AC220V 550W
電源	AC110V/220V 50/60Hz
端子金型	横送り金型、直送り金型
対応端子	圧着端子、連鎖端子
操作方式	単動ペダル
外形寸法	290 x 290 x 600 mm
質量	50 kg

モデルラインナップ一覧

6機種はいずれも同一の架台群に基づく静音卓上プレスで、加締め力は1 tから8 tまで段階的に設定される。架台寸法、モーター出力、質量は加締め力に応じて大きくなるため、最大の端子をカバーする加締め力の機種を選ぶ。

項目	WPM-1000S	WPM-1500S	WPM-2000S	WPM-3000S	WPM-4000S	WPM-8000S
加締め力	1,000 kg	**1,500 kg**	2,000 kg	3,000 kg	4,000 kg	8,000 kg
モーター出力	0.35 kW	**0.55 kW**	0.75 kW	1.1 kW	1.5 kW	1.5 kW
本体質量	26 kg	**38 kg**	45 kg	49 kg	89 kg	99 kg
外形寸法（長×幅×高）	218×188×460 mm	**410×410×770 mm**	410×410×770 mm	430×510×770 mm	430×620×770 mm	430×620×770 mm

用途

— 家電・小型モーターのハーネス：内部リード線に丸形、フォーク形、平形端子を、1本ずつ皮むき・加締めする

— 電源コード・照明器具の組立：リールポストから送り出した連鎖端子をダイスで加締める

— 制御盤の配線：盤内リード線の絶縁付き丸形・平形端子で、加締め高さをバッチ全体で揃える

— センサー・信号ケーブル：小さな圧着端子を低い加締め力とペダルサイクルで処理する

— 週の途中でストレートとサイドフィードのアプリケーターを切り替える受託工場。プレスは替えずに済む

FAQ

WPM-1500Sが「サイレント」端子圧着機と呼ばれる理由は何ですか?

WPM-150Sは、特別なインバータ駆動システムと、動作中の振動や騒音を最小限に抑えるために精密に設計された機械構造を備えています。従来の空圧式や衝撃駆動式の圧着機とは異なり、この機械は非常に静かな性能を提供し、オープンプランの作業場や騒音規制が厳しい施設など、騒音低減が優先される環境に最適です。

この圧着機の主な仕様と電源要件は何ですか?

この機械は1.5トンの容量を持ち、30mmのストロークを備えた圧着機で、幅広い端子サイズに十分な力と深さを提供します。標準のAC220V電源で動作し、信頼性の高い電動モーターとインバータ駆動が組み合わされています。この組み合わせにより、一定して高精度な圧着が保証され、常時稼働する油圧システムに比べてエネルギー効率に優れています。

この機械は高容量のワイヤーハーネス生産に適していますか?

はい、サイレント端子圧着機WPM-1500Sは、産業用ケーブルハーネス製造における耐久性と効率性のために設計されています。その静かな動作は作業者の疲労を軽減し、インバータ駆動により圧着サイクルの速度調整と精密制御が可能です。これにより、連続またはバッチ生産環境において、一貫した品質、高い再現性、および生産性の向上が実現します。

どのような種類の端子やワイヤーサイズに対応できますか?

1.5トンの力と30mmのストロークにより、WPM-1500Sは絶縁および非絶縁端子、コネクタ、ラグなど幅広い範囲の圧着に対応できます。具体的なワイヤー範囲（例：AWG 26から10まで）は、使用する交換可能な端子圧着金型（ダイ）によって異なります。標準的な金型セットと互換性があり、上下のダイを交換することでアプリケーションを迅速に切り替えることができます。

インバータ駆動は圧着プロセスにどのような利点をもたらしますか?

統合されたインバータ駆動は中核的な利点であり、ラムの下降と上昇を精密に制御するためのモーター速度調整を可能にします。これにより、作業者は異なる端子に対して圧着サイクルを最適化でき、工具への衝撃ストレスを軽減し、全体的な圧着品質を向上させます。さらに、油圧動力ユニットや騒音の大きい空圧システムが不要になることで、機械の静粛な動作、エネルギー節約、およびメンテナンスの軽減に貢献します。